

# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

## 第1892回例会

令和8年3月12日  
18:30～19:30



創立40周年

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日もホームミーティング報告例会の発表ありがとうございました。佐藤清作パスト会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。）
- 運天直人幹事（ホームミーティング発表の皆様ありがとうございました。本日も周年の出欠表を回しておりますので記載をお願い致します。）
- 居川孝男会員（職業奉仕が続きなかなか出席出来ず申し訳ありません。佐藤清作チャーターメンバーのご冥福をお祈りいたします。）
- 鈴木孝幸会員（ホームミーティングの発表、近藤班長、ごろうさまでした。雑談で終わってしまったMTGでしたが、たのしかったですね。）
- 西山よしえ会員（照井会員、入会おめでとございます。同い年としてご入会心強いです。ロータリー活動を一緒に楽しみましょう。大住会員、発表ありがとうございました。）
- 成井正之会員（佐藤清作先生のご冥福をお祈りいたします。「ありがとうございました。」）
- 金田昇会員（三寒四温、体調管理をしっかり行いたいと思います。）  
（佐藤清作パスト会長のご冥福をお祈りいたします。）
- 佐川京子会員（照井さん西ロータリーへようこそIRCライブを楽しんでください！3月のお誕生日祝と結婚祝をありがとうございました。高齢者になってしまいましたが、気持ちがついていけないので「シニア」になったということで皆さんよろしくお祈りいたします。）
- 矢田部錦四郎会員（ホームミーティングでは、夜遅くまで楽しい時間と交流できました。吉成班長お世話になりました。誕生日祝ありがとうございました。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 3月4日 1班ホームミーティング 美国  
吉成茂、堀田一彦、矢田部錦四郎、中目公英、増子国安
- 2月27日 4班ホームミーティング 楓  
鈴木満、大竹憂子、金田昇、遠藤敦、青木大、石川格子、照井耕輔
- 2月22日 7班ホームミーティング アジマンチャオ  
中嶋一貴、関谷亮一、居川孝男、運天直人
- 2月20日 8班ホームミーティング アジマンチャオ  
西山よしえ、大住由香里、吉野敬之、鈴木典雄、永山龍太郎
- 2月25日 9班ホームミーティング 楓  
近藤勝人、渡辺勝也、鈴木孝幸、藤田龍文
- 2月19日 10班ホームミーティング 赤門  
市川正人、鈴木浩一郎、池田浩彰、高島裕、鶴丸彰紀
- 2月27日 11班ホームミーティング 赤門  
十文字宗博、佐藤幸彦、吉成真五郎

▶第1892回例会出席状況

(R8年3月12日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	58名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17名
Ⓓ 全正会員数	75名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	15名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	43名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	73
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	58.9%

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

藤田龍文会長



皆様、こんばんは。本日も3月のあわだたい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。先日、皆さんのほうにも連絡いったと思いますが、当クラブのチャーターメンバーであり元パスト会長ということで佐藤清作先生が先日お亡くなりになりました。本年永野先輩だったり佐藤清

作先輩だったり、多くの長いロータリー歴を誇る先輩がお亡くなりになるということで、大変悲しい部分が多うございます。本日、ホームミーティングの報告ということで先週に引き続き2回目となりますが、私の個人的な思い出として佐藤清作先生のお宅で2回ぐらいホームミーティングをさせていただいた思い出がございます。それを見て私は班長が回ってきた時には必ず自宅でやろうと私は決めました。それから2～3回でしょうかね。私ロータリー17～18年目ですけどもなかなか回ってこないの、班長の時には必ず自宅でやるようにしております。清作先生は奥様も当時ロータリーにも沢山出てきていただいて奥様の心のこもった手料理と奥様も一緒に同席してもらって昔のいろんな話だったりそういった部分をお話していただいたり。先日焼香行った時も本当に数回なんですけど清作先生の奥様も顔と名前を憶えていただいて、なに今年あなた会長なのなんて話から始まってあの時のホームミーティングは楽しかったねなんていう話しをしていただいたりというの、本来のホームミーティングのいろいろな良さの一つの部分かと強く思いました。焼香に何う時も、先輩の家をさっとわかって間取りもわかってというの、あとどんな家族構成だったりもわかるのも一つホームミーティングの良さでもあると思っております。ですので、今こんなご時世ですけれどコロナもあつたりいろいろ難しい状況であるかと思いますが、そういったホームミーティングを志す班長がいても悪くはないと思います。店でやってももちろん悪くはないと思いますが、その時のやり方でその人のどんなエリアのどんな家に住んでどんな家族がいてなんていうのを知るのも一つ面白いロータリーの親睦の中の一つのアイテムかと思われます。もう3月に入ってまいりまして40周年のいろいろな打ち合わせもちょこちょこ部門部門でやっておりますし、先日も地区大会の打ち合わせということで多くの皆様にお集まりいただいて、例会と例会の間に3回も4回もほぼ毎日会っているような方もいらっしゃるんですが、そういったところで40周年と地区の運営に向けてどんどん進んでおります。先週は「シン鹿島」の所で実行委員の方数名だったんですが試食会というのをやってきました。40周年の記念式典の時にこれも私の考えでごり押しさせていただいて申し訳なかったんですが、式典の懇親会は見るとアトラクションではなく食べるアトラクションでやりたいというのを強引に突き進めさせていただいて、食事の中で姉妹クラブ、深谷、そしてコザ、米沢とそういった所のご当地の食材をふんだんに使っていただいて、食事の中でそういった部分を表現していこうということで、ちょうど「シン鹿島」にはとても有名な所で働いてきたシェフの方

がいらっしやると聞いておりましたので、そちらにお願いしてフルコースで既にその全部の料理の中に姉妹クラブだったり、もちろんこの白河のご当地の食材もふんだんに入っていると料理を当日の4月12日の懇親会では出るようにこしらえてございますので、是非会員の皆様もちろん食せますので、そういったところは楽しみにしていただいて、そして姉妹クラブの方々もそういったところでは食材が入ってくるというのの少し喜んでいただけるのかなと思っております。それでは、本日も6班ぐらい発表がございますので、是非よろしくお願ひしていただきたいと。そして本日、新入会員照井君がお忙しい職業奉仕の中時間を空けていただいて来ていただきましたので、後で後程本人からもご挨拶あると思いますが、美容と映像のプロフェッショナルでございますので、おそらく40周年の式典や来年の地区の行事等でもだいぶ活躍していただける存在だと思っておりますので期待しております。本日もホームミーティングの報告ということで楽しみにしておりますのでよろしくお願ひいたします。あともう一点、これを新しくすると周年というイメージがあるんですが、とうとう白河西ロータリークラブの襷が新しく出来ました。色も形も前回の30周年の時作ったものと同じではあるんですが、ちょっと女性を意識してお着物を着た時にもきつくないようにということで、ちょっと長めの襷になっておりますが新品が100本ほど来ましたので、こちらを付けて式典や来年の地区行事のいろいろなものに出て白河西ロータリークラブをアピールできるかと思ひます。

### ■幹事報告

運天直人幹事

○公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 若林紀男：2026年(令和8)学年度 業務委託・覚書締結の件  
○泉田ガバナリー事務所：【訂正のお願い】地区補助金申請書新様式の送付について

○(株)コンピューターエンゼルス：事務局システムのご案内

### ■新入会員入会式

#### ●照井耕輔会員



皆さん、こんばんは。「株式会社リーフ」代表取締役の照井耕輔と申します。白河市大手町で美容室と撮影スタジオを営んでおります。この度、藤田会長のお誘いがある前回はゲストでこちらに来させていただきました。今日もゲストかなと思つたら新入会員ということで、顔見知りの方もそうでない方も是非よろしくお願ひいたします。いつまでも人生勉強かなと思っております。最近、息子が高校を卒業しましてようやく大学入学が決まって高校PTAも終わりかなと思つたらロータリークラブということで、いつまでも勉強していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



## ■本日のプログラム 第2回ホームミーティング報告会

### ●1班 堀田一彦会員



皆さん、こんばんは。第1班のホームミーティングの報告させていただきます。うちの班は3月4日水曜日の18時30分から「美国」さんのほうでおこないました。参加メンバーは、吉成茂班長と矢田部会員、中目会員、増子会員、それから書記の堀田の5名でおこないました。他に上杉会員と松永会員がいたんですが、なかなかお忙しいということで5名のホームミーティングになりました。早速テーマ1のガバナー年度に期待することという部分に関しては西クラブから初めてのガバナー輩出なので地区を知る良い機会だというふうな意見もありました。それから、ロータリーの地区はJCでいえばブロック協議会のことで、県内の仲間を増やすチャンスがあるという意見もありました。また地区チームセミナーの後、3日間具合が悪くなったので金田ガバナーエレクト、諸橋次期幹事の一年間の健康をお祈りいたしますという意見もありました。それから地区委員会はクラブの支えになることが目的ですが、地区委員会とクラブ委員会の連携が取れていないように思うので、来年は連携が取れることを期待しますという意見もありました。それから期待より不安のほうが大きいです。今月から地区の予算を組んで資金を管理して、来年の10月に決算審議をするまで忙しいと思いますが頑張りたいと思います。大体7,000万位の資金管理なので、ちょちょいと思えます。それから次回輩出予定候補者の吉成茂会員の為にこのようなマニュアルはきちんと作成して残したいと思いますので、まあ何年後になるかわかりませんが15年から20年後ぐらいですかね。頑張っていたきたいというふうに思います。まずは、県南分区ガバナー補佐からね、その後がまだ、はい。続いてテーマ2のホームミーティング報告で感じた成果とは。これは本当にいろいろありましたが、普段話せない方々と話せたり、先輩たちからロータリーの勉強ができる。それから、スマイルの予算組みの仕方とか、スマイルをどのタイミングで幾らぐらい出せばいいのか、そういうのがわからなかったんですがホームミーティングで先輩たちから聞いてようやくわかりましたという話がありました。ここからは少し雑談になるんですが、増子君の意見で他団体は青少年奉仕活動支援にしてもこれから役に立ちそうなセミナーをおこなうなど、直接的な支援をしていないんですね。しかし、ロータリーは直接困ってる人や団体に資金や物の援助ができるので、そこがロータリーのすごいところじゃないかなという話がありました。それか

ら、吉成茂君の意見で例えば班長や書記になるのにお伺いが無いと。強制的に勝手に決まってる。まあでも、そこがいい。なので、休めないで強制的に班長、書記を指名するのもいいというお話でした。今回のホームミーティングの班分けは5人から7人という人数なので、ここで不参加者が出るとなかなかちょっと少人数になってしまうので少し少ないかなと。もう少し7~8人くらいを目安にしてくれると、ホームミーティング班長のほうも段取りしやすいのかなという意見もありました。

## ●4班

### 大竹憂子会員



皆さん、こんばんは。4班の報告をさせていただきます。4班は、全員参加でした。メンバーは、班長の鈴木満会員、金田会員、遠藤会員、青木会員、石川会員、照井会員、そして書記の私の7名で、2月27日金曜日6時半から青木会員のお店「楓」で開催しました。まず、テーマ1ガバナー年度に期待することですが、メンバーに金田ガバナーエレクトがいるので、地区のまず説明をしていただきました。照井会員や鈴木会員が、地区って何、ガバナーって何って思ってるだろうということで、その辺の説明をしていただきました。その後金田会員がどんなガバナー年度にしたいのかを私達が聞いてみました。そこで出てきた言葉は、白河西ロータリークラブ会員のスキルアップとチームワークに期待している。金田スタイルプラス白河西ロータリークラブスタイルで楽しい年度にしてほしい。他クラブのネットワークや地区公共イメージアップを図り、チャンスを生かし、次のステップへ更にマネジメントアップに繋げるそんな活動にしてほしいなど、沢山の話を聞かせていただきました。その後、会員の皆さんに意見を聞いたりしました。一つは、交換留学生とか米山留学などもやってほしいという話がありまして、これは交換留学生もやりませんという話でちょっと盛り上がりました。それから、普段行かないクラブにみんなで参加してみたいという意見もありました。なかなか他のクラブに行くってこうやっぱりできないことなので、できることだったら白河西ロータリーのメンバーで他のところに行ってみたいという話がありました。あとは奉仕活動の時の充実感、これを皆で楽しみたいなどの意見が出ました。そして、その後に地区大会への案として、まずはネームホルダーを白河だるまの形にしてみないとか、それから前夜祭の時には、浜中会津でやってみたい。浜だったら何だろうとかっていう話になりまして、浜だったらフラダンスでしょう。中だったらなんだだろうなあ。クラシックですかね。会津だったら会津芸者だ、ですよねなんていう話で、これもなんか面白そうだよなんて言うってかなり盛り上がって話をしました。白河西ロータリークラブのみんなのストーリーを作ろう。そんなふうな話でそんな感じで話が進み、次のテーマ2に移りました。ホームミーティングで感じた成果。初めに、金田会員と遠藤会員から、ホームミーティングとは何ぞやということで、簡単に説明していただき元々はお家でやったんだという話だったりとかもちろんお話していただいて、その辺はなるほどという感じで鈴木会員だったりとか照井会員はすごく感じてみたいで、なんかその自宅

でやるというのも楽しそうですねなんていう会話とか流れまして。その中で、金田会員のほうから白河西ロータリークラブはホームミーティング活発であると。他のクラブからも凄まって褒められるんだよってという話もありまして、また別の意見としていえばこれくらいの少人数だと個々の発言が共有され、普段なかなか話せない会員への理解も深まるというお話もあり、知識が高まり良かった楽しかったって言うてくださった会員さんがほとんどでした。皆さんそう言うてました。また、これはまた別な話になりますが、「楓」の料理最高とか、やっぱり飲コミュニケーションは大事だよねとか、あと余談で金と女とウサギは追いかけるななんていう話でいろんな笑い話が沢山多くて、本当に笑いが絶えないホームミーティングでした。以上、4班の報告とさせていただきます。

### ●7班



#### 中嶋一貴会員

皆さん、こんばんは。7班のホームミーティングについて書記の中嶋から発表させていただきます。我々は2月22日曜日、3連休のちょうどあいだのところです。6時半から「アジアンチャオ」で開催をいたしました。あいにく班長の高田会員が体調不良、島田会員もご都合つかないということで全部で4名、関谷会員、居川会員、運天会員、中嶋の4名ですけれども濃い内容で盛り上がらせていただきました。まずテーマ1のガバナー年度に期待することについてなんですけれども、大きく二点を中心にお話が出ました。まず一点目なんですけれども、現在続々と始まっている地区関係のイベントですとか、あとラーニングセミナーとかこれをしっかりと西メンバー皆で支えて盛り上げていくことがまず大事だよねというお話と、二点目が金田ガバナーをしっかりとこれ西メンバー全員でお支えしながら地区全体を盛り上げていくこと。その結果として、白河西ロータリークラブアピールにもなるので、知名度を上げていくことができるようになるといいよねと、そういうようなお話が出ました。続いて2番目のテーマ2のホームミーティングで感じた成果のところなんですけれども、先程も堀田さんからありましたけど、少人数での集まりなので本音でいろいろ語れて親睦が図りやすいですとか、あとはコミュニケーションの活性化に繋がる良い機会。あとは、先輩からいろいろなお作法ですね、これをお伺いする貴重な機会なんじゃないかというお話が出ました。一方で、今後の改善といえますかご提案みたいなお話も出まして。例えば新人の方が班長等をされる時にはホームミーティングの実施前にホームミーティングそもその目的とか趣旨ですとか、あとはまあ日程調整。招集するにあたってのお作法ですとか、またホームミーティング自体で気を付けるべき点とかそういう事前レクチャーみたいなものとホームミーティングのより良い開催に繋がるんじゃないかと、このような意見も出ました。関谷会員がいらっしやいましたので、裏テーマとして第3のテーマで橋本龍太郎元総理とのエピソードですとか、あとちょっとここではお話しできないような都市伝説的ないろんな逸話もお話いただいて大変盛り上がったホームミーティングとなりました。簡単ではございますけども7班の発表

は以上とさせていただきます。

### ●8班



#### 大住由香里会員

皆さん、こんばんは。第8班のホームミーティングの報告をさせていただきます大住由香里です。第8班は、2月20日の6時半から「アジアンチャオ」さんにておこなわれました。班長が、西山会員。そして、吉野敬之会員、鈴木典雄会員、永山龍太郎会員、書記の私の5名でおこなわれております。報告させていただきます。1番目のガバナー年度に期待することということで、まずガバナーって何だか知ってるという会話になりまして、答えが福島のロータリーで一番偉い人だよねというようなちょっと幼い表現の答えからですね、そこに吉野パスト会長がおりましたので、地区を代表し各クラブ間の関係やクラブの活性化をおこなう役割があるんだという、しっかりとしたお答えをいただいてからの始まりとなりました。我々の認識としては、当クラブからガバナーを輩出することでロータリーをより理解できますし、事業自体は大変ですけどもやりたい事業があればもちろんやりやすい年でもあるので、活発な年度になるのではないかという話が前向きなお話が出ておりました。その流れの話で、多くのロータリー行事が出てくるので、いろいろな土地への参加というか、いろんな土地へ行く機会も増えるという永山会員からそんなに沢山行けるなら僕はガバナーの専属ドライバーになっているんな所に行きたいと申し出がありました。ちょうど隣にいらっしやいました。これ必ず言うようにというふうに言われましたので、是非お願いしたいと思います。そういった多くの活動を通してロータリーというものが認知される年になればいいなという話が出ておりました。またロータリーって何といった質問に答えられる自分になりたいという話が出ておりました。ロータリーを説明できることもですけれども、ロータリーの自分なりの価値を見つけられる年度にしていきたいねという会話から、やはり吉野さんのほうから会の会長や役割をいただくということは、少なくとも自分が恥ずかしい思いをしたくないためだったり勉強もしますし、考える時間も増えるという話がありました。なので、ガバナー年度はそういう意味でも私達それぞれが役割が多い年でありますので、ロータリーに関わる時間も多くなるということで先に出たように、ロータリーを説明できたり、ロータリーの自分なりの価値を見つけられる年度になるのではないかというお話でまとまりました。そして、何よりも重責を担っております金田会員のほうが体調を崩すことなく全うできるよう全力でサポートしたいという意見が多く出ておりました。2番目のホームミーティングで感じた成果ということなんですけれども、今回はロータリー歴が浅い4名と吉野パスト会長という形だったので、吉野さんのほうからいただく話が主だったような気がします。今更ながら、2530(にいごうさんまる)地区って言うの、2530(にせんごひゃくさんじゅう)地区って言うの、というような話も出てきて、にせんごひゃくさんじゅう地区って言うんだよってという話だったりとか、人数単位で地区割があったので、昔は福島とか山形、宮城が一緒だったお話だったりとか、そういう歴史的なものも

教えていただくことができたミーティングでした。また、ポリオってどんな病気かわかるって聞かれて、大体が、んっ、んって固まってしまったんですけれども。結局、小児麻痺だよねっていう話になって。ただ小児麻痺の方って最近見るっていう話にもなって。私達とか吉野さんはいたよねっていう話だったんですけれども、永山さん世代になるとそういえば見たことないかも、会った事ないかもという話になって、ポリオの効果というかそういうお話の中で出て、しっかりと私たちの中にも認識されたのかなと思いました。また、RLIに行くところロータリーにおけるリーダーシップは何ぞやということ学ぶこととか、DEI委員会があってねと、そのDEIのEはEquity(エクイティ)というんだよと。公平性というものがあるねとか、ロータリーにおける公平性はこういうことだねという話が吉野さんのほうから沢山学ぶことができました。本当に真面目な会だなんて、ずっと脱線することなく真面目にお話してたかなと思えました。たまに、レターケースに入ってる『抜粋のつづり』小さいあれがなんか私好きなんです。老眼になったらあの字の大きさがちょうど良く、布団中で読むのにちょうどいいですなんて話をして、あれは全国のロータリーの会員に渡されているものなんだよという、何でも質問すると吉野さんが教えてくださるという会で、本当にロータリーを深く知れる、そして吉野さんが言った会長をやると少なからずとも勉強するんだよというのを本当に理解できたかなと思う会でした。最後に、これは必ず伝えてくれというお話があったんですけれども、先週藤田会長のほうからお話もあった亡き永野会員が残して下さった多くのものの一つとして、国歌斉唱の時の姿勢というか、指を伸ばしてズボンの線の脇にしっかりとつけて、しっかりと立って国歌斉唱を歌うのがという話があったと思うんですけれども、それを大事にしたいねと先週会長も仰っていたんですけれども、それをずっと残していってほしいという話が出ておりました。その中でやっぱり私を感じたのは組織の変化とか成果というのも求める今なんですけれども、やはり歴史をしっかりと受け継いでいくというロータリアンとしての姿勢を学ばせていただいた会だと思っております。

### ●9班

#### 近藤勝人会員



皆さん、こんばんは。9班の班長をさせていただきました近藤と申します。本来であれば、書記の方が今日発表というところなんです、前日かな、本当は緑川会員だったんですがその方がちょっと急病で来れないという中で、次に大竹さんになって大竹さん当日体調が悪くなって来られなくなったという中で参加していただいた皆様の顔ぶれを見ても誰に書記を頼むこともできず私を買って出て今日発表させていただきますので、よろしくお願ひします。9班のホームミーティングは2月25日、青木会員の楽蔵内にある日本料理「楓」さんのほうでおこなわせていただきました。メンバーは当日、藤田会長、渡部会員、鈴木会員、そして私の4名でおこないました。その中でまず一点目ガバナー年度に期待することについてですが、藤田会長を中心に金田ガバナー次年度を

どう支えていくかという議論が交わされました。その中で、形式的な協力に留まらず会員一人一人が主体性を持って参加する姿勢が大事なのではないかなという話が出ました。もう一点がこの機会をクラブの成長に繋げていくべきか熱のこもった意見と、白河西ロータリーとしてのアイデンティティーをどう発揮するか、そこを中心に頑張っていこうというような意見が出ました。続きまして、ホームミーティングで感じた成果についてですが、通常例会ではなかなかお話しできない方々と深い話をさせていただきました。私はまだちょっと入会して日も浅いんですが、その先輩方のお話について非常に勉強になったなというふうな思いをしております。普段聞けないお話というのはここでちょっと言えないことも多々あるんですけども、藤田会長を中心に大人の話も交えていろいろ聞かせていただき勉強になりました。その中で白河の発展も含めて経済も良くしていきたいねなんていう話もありながら、和やかに4人で無事終わることができました。

### ●10班

#### 高島裕会員



皆さん、こんばんは。第10班のホームミーティングの報告をさせていただきます。2月19日木曜日、18時半から「赤門」にて開催をさせていただきました。班長の市川さん。それから、書記に鈴木浩一郎さん。それから、池田会員、鶴丸会員、白岩会員が体調不良で欠席。そこに私ということで、今日は鈴木浩一郎さんが先週も今週も来れないということで、私ワインいただいちゃったのでやるということになって、今日は浩一郎君の代わりにワイン貰ったのでやりますということで。まず、テーマ一目のガバナー年度に期待することということで、いきなりここで事件が発生。班長の市川さん、ChatGPTでテーマ1とテーマ2両方答えを聞いてきちゃったんですね。それから、なんかやりづらくなってしまっていて、非常になんか既にその資料こうやって渡されるわけですよ。これについて喋るというよりもテーマについて喋るはずなのに、市川さんがそんなことをしてしまったものですからちょっと流れが悪くなってしまい、という事でまずテーマ1のガバナー年度に期待することということで、ChatGPTの事も若干含めながらお話させていただきたいと思ひます。まず初めに、西クラブとして初めてのガバナー輩出であるということで、当然ガバナーをお支えしながら頑張っていきましょうと、一致団結しようということで、期待することということに関しては多くの人に役割が回ってくるので、より楽しんでくれるクラブ作りになるんじゃないかなという意見も出ました今現在、藤田年度非常に楽しませてはいただいておりますが、次年度もガバナー年度だから義務出席ではなく行きたい例会で、行きたいから出席をしたくなる例会にしていきたいなというお話がありました。その他に、女性の活躍もガバナー年度に期待することではないかということで、特に女性にフォーカスを当てすぎることがかえって女性にとって失礼になるんじゃないかと。意識をしないで女性参画も普通に男性女性関係なくメンバーとしていくのが望ましいということでご意見が出ました。全体として

は誇りと楽しさを生み出す一年となることをガバナー年度に期待したいということで大体まとまったところでございます。テーマ2のホームミーティングで感じた成果はということなのですが、こちらやはり例会では見えない人柄や考え方を理解でき会員間の絆が強まる。あるいは、自分もクラブの一員であるということが意識できるんじゃないかと。それから、ホームミーティング自体が少人数だからこそクラブの運営や事業の本音の意見を交換ができるということで、普段、商売や個人、家庭の普段聞けないお話がこういう場で聞けるんじゃないのかなということでお話が出ました。あとその他にホームミーティングは以前は班長が多めに会費を払っていましたが、その後最近では班長、書記が割り勘で全員ができるようになったことが非常に負担少なくて良かったということ。あともう一つ班長や書記が連続しないように引継ぎをしてほしいということの、ちょっとクレーム的な意見が出てきました。それから会費に関してはやはり皆さん同じような感じで割り勘でやってくれたほうが助かるということで、これは私も同感だなと思いました。その後ですね、ホームミーティングを通して会員同士の理解が深まり信頼が強くなるということで、年に3回くらいあってもいいんじゃないかなというご意見もございました。テーマ2に関してそのようなお話があった後株の話だったり、それから雇用と最低賃金の話だったり、あと鈴木浩一郎くんがなんか塩釜のほうに行ったらこの間選挙で勝った森下千里さんにばったり会って、なかなかいい女だったななんてちょっと得意になって言っていましたけど。あとその後また事件がその雑談の中で事件が起こりまして、ちょっとここでは内容は詳しくはお話できないんですけど、鶴丸さんの性癖が出てくるようなお話がでて、ちょっとびっくりするような性癖持ってたなみたいな感じで、聞きたい方は個人的に私のほうまで問い合わせたいと思います。そういうことでホームミーティングは本当にやっぱりなんだかんだ言っても例会とはちょっと違って、やはり参加する意味も深いですし、年3回くらいやってほしいなというふうに皆さん思ってるところもあるし。やっぱりただの飲み会とは違って、クラブを理解するためにもそして信頼関係を作るためにも非常に良い集まりなんだというふうに改めて認識しました。ですから、この勢いを持ったまま次年度金田ガバナーにこの勢いを授けさせていただいて、我々西クラブが一致団結して盛り上がっていければと考えております。

●11班

吉成真五郎会員



皆さん、こんばんは。11班の報告をさせていただきます。11班は、2月27日に「赤門」さんのほうで開催いたしました。出席がですね、十文字班長とわたくしと佐藤幸彦さんパスト会長ということで、少数制3名ということで開催いたしました。一番目のガバナー年度に期待することというテーマで話が始まったんですけども、まず十文字君のほうから

そもそもガバナーって何ですかみたいな話で、やはり用語がですねわかりづらくて、十文字君が属しているJCでいえばまあプロ長だよと。そうすると、なかなか大変ですねみたいな

話なんですけども。やはり、新入会員の方ですね、やはりガバナー年度とかそういう意味というのがなかなかわからないと思うので、逆にこのホームミーティングで各班で細かく話すことによって、いろんな先輩からお話聞けて良かったんじゃないのかなというふうに思いました。その中で、期待よりも不安のほうが大きいと。もうこのガバナーを出すというのはなかなかできない。白河西でも初めての経験ですので、素晴らしい歴史になるんじゃないのかなという意見もございました。ガバナー年度ということで、いろんなロータリークラブ私も研修会とかに出て来年ガバナー年度だね大変だねみたいな形で、いろいろ会話のきっかけになりやすいですね。なので、そういったことで県内のいろんなクラブの方と交流ができるというのもメリットだというふうに思います。白河西としてやっぱりロータリーというものをこう本質的にいろいろ学ぶというチャンスにもなるので、意識がどんどん高くなるということが期待できるのではないかなという意見がございました。やはりですね、初めての経験ということで西ロータリークラブとして新たな歴史に立ち会えるチャンスではないかなというようにすごく前向きな意見がございました。次にですね、ホームミーティングなんですけども、ホームミーティングというのは県内でやってないクラブもあるということで、やはり白河西ロータリークラブのすごく良い伝統だなというお話が意見が出ました。私も他のクラブの方と話すときやっぱりこの出席率が高くていろんな議論が盛んだということをお話するとやはりびっくりされることもあるので、白河西ロータリークラブ独特の良い伝統だなというふうに感じております。あとですね、例会の出席率は3割くらいなんだけども、ホームミーティングは今までのところ全部出るので、やっぱりホームミーティングっていいですよというお話もございました。テーマを持って話をするということが、普段の例会ではないのでそれはすごくいいことだなという話がありました。11班のほうではそのような議論が交わされました。以上です。ありがとうございます。

3月14・15日  
第44回RYLA研修会(ホテル華の湯)

